

2022

令和3年度

転入女性が暮らしやすい
福島づくりプロジェクト

活動報告書



一般社団法人 tenten



転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトを始めて、丸4年が経ちました。
4年目であった令和3年度は、私たちにとって新たなチャレンジと振り返りの年でした。

1つ目のチャレンジは、これまで補助金を活用して実施してきた「WELCOMEワークショップ」や「まちとつながる旅」を福島県県北地方振興局主催の委託事業として実施させていただいたこと。これまでは転入女性の孤独や不安の悩みの解消ということに注力して事業を行ってきましたが、福島県主催となったことにより、移住者転入者同士の有機的な繋がりづくり、そして地域の方との繋がりづくりをより意識し、転入女性のパワーを地域にどう浸透させていくか工夫を凝らして取り組みました。
その思いが通じたのか、飯坂温泉の観光客増加のための転入女性モニターツアーの依頼もいただきました。

2つ目のチャレンジは、県産品の新しいギフトショップ「ent」のOPENです。

活動を始めてから、転入女性がいつでも気軽に来れる「場」があるといいなと思っていました。活動を本格化し、法人化をする
と決断する直前に、一般財団法人ふくしま未来研究会から、福島市の街なか活性化を主な目的として店舗運営のお話をいただきました。店舗運営の経験がないためとても悩みましたが、「場」を作ることができること、そして徐々に広がってきたtentenコミュニティの中に、店舗運営の経験者を見つけることができたことから運営を決意しました。お店のスタッフもコミュニティの中で応募し、様々な経験やスキルを持つ女性たちと一緒に新しいものを作り上げカタチにすることができました。

このようなチャレンジをしつつ、年が明けてからtentenの活動の振り返りを行いました。これまでの活動に参加してくれた転入女性たち約20名にヒアリングを実施。福島に転入する前から現在までの心境や生活の変化、そしてその変化にtentenのどんな活動がどのように影響したのかを教えてもらいました。その結果を元に、ロジックモデルの見直しを行い、tentenの活動と転入女性の変化を分かりやすく関連付け、見える化して整理。活動の羅針盤ができました。

今後、私たちの活動を振り返る時、この令和3年度がターニングポイントだったと感じる年になったのではないかと考えています。
令和3年度の活動をぎゅっとまとめた活動報告書、是非ご覧になっていただけますと幸いです。

令和4年7月
一般社団法人 tenten
代表理事 藤本菜月



目次

あいさつ、目次

事業概要、令和3年度プロジェクトの沿革	1
WELCOMEワークショップ 福島市・二本松市	2
まちとつながる旅in川俣町	3
まちとつながる旅in福島市	4
まちとつながる旅in福島市（座談会）	5
桃畑オンライン見学ツアー、福島への愛着度（フォローアップアンケート結果）	6
tenten cafe（福島市・郡山市・相馬市・会津）	7
飯坂モニターツアー	8
自分らしく働くキッカケづくり、その他の活動	9

❁ 転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクトとは…

福島県に転入する女性は、毎年2万人を超えています。福島県の調査によると、転入の理由は転勤、結婚、親族との同居など、純粋な移住ではなく何か理由があって転入する人が過半数を占めています。

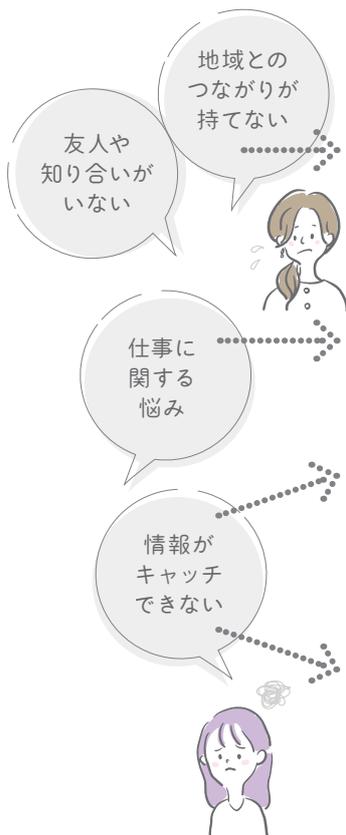
そのような転入女性にアンケートを取ったところ、「友人や知り合いがない」「地域とのつながりが持てない」「口コミ的な身近な情報がキャッチできない」「希望する仕事を見つけられない」といったことに悩んでいることが分かりました。

転入女性の悩みやニーズに応える活動が「転入女子が暮らしやすい福島づくりプロジェクト」です。

不安や孤独で孤立しがちな転入女性が、仲間、地域、情報、ひいては社会と繋がり、暮らしやすく生き生きと楽しく自分らしく生活できる環境をこの福島で作ることを目指しています。

それはひいては定住し、地域プレーヤーとなる女性が増えること、またいずれ福島から転出する場合でも、福島ファンであり続け、福島との繋がりを持つ関係人口が増えることに繋がっていくと考えています。

❁ 転入女性の悩みやニーズに対応した取り組みを行っています



① 仲間や地域とつながるキッカケづくり

- 転入女性の座談会「tenten cafe」の開催
- 地域素材を使ったワークショップ「WELCOMEワークショップ」の開催
- 地域を知り、まちの人とつながるための街歩きツアー「まちとつながる旅」の開催



② 自分らしく働くキッカケづくり

- 転入女性のスキルを活かした仕事や在宅ワークの受託
- お仕事探しサポートサービス
- 地域資源を活かした雑貨ブランドの運営



③ 暮らしの情報発信

- 転入女性目線で福島の暮らしの情報を発信するWEBメディア「tenten fukushima」の運営
- 一目でわかる地域名マップ「tenten map」の制作



④ 情報発信の場づくり

- 県産品ギフトショップ兼移住情報ステーション「ent」のプロデュース管理



⑤ コミュニティづくり ● Facebook非公開グループ・公式LINEの運営

- 人や場所の紹介・引き合わせ、相談に乗る
- 既存イベントやサービスの紹介等

令和3年度 プロジェクトの沿革

令和3年4月17日	tenten cafe@福島市(単身転入・移住者の会)	令和3年10月5日	WELCOMEワークショップ@二本松市①
令和3年5月21日	勉強会@福島市	令和3年10月9日	まちとつながる旅in川俣町
令和3年6月10日	tenten cafe@郡山	令和3年10月12日	WELCOMEワークショップ@二本松市②
令和3年6月18日	WELCOMEワークショップ@福島市①	令和3年10月14日	tenten cafe@相馬市
令和3年6月19日	tenten cafe@福島市(大会)	令和3年10月25日	tenten cafe@会津若松市
令和3年6月25日	WELCOMEワークショップ@福島市②	令和3年10月26日	tenten 勉強会@福島市
令和3年6月27日	tenten cafe@南相馬市	令和3年10月27日	WELCOMEワークショップ@二本松市③
令和3年7月2日	WELCOMEワークショップ@福島市③	令和3年11月16日	tenten cafe@喜多方市
令和3年7月5日	tentenライターフォローアップ講座	令和3年11月18日	tenten mama cafe@福島市(ママ会)
令和3年7月9日	WELCOMEワークショップ@福島市④	令和3年11月22日	tenten cafe@会津若松市
令和3年7月15日	tenten mama cafe@福島市(ママ会)	令和3年11月25日	tenten cafe@郡山市
令和3年8月31日	桃畑オンライン見学ツアー@国見町	令和3年11月26日	まちとつながる旅in福島市
令和3年9月4日	tenten cafe@郡山(大会)	令和3年12月5日	飯坂温泉共同浴場モニターツアー
令和3年9月21日	「ent」グランドオープン	令和3年12月20日	まちとつながる旅 座談会@La Unión
令和3年9月25日	Tagajo Sustainable Relationship2021会議 「防災&インクルーシブなまちを考えるシンポジウム」 にゲスト出演	令和4年1月27日	移住・転入女性限定!ふくしまプレミアム・スイーツモニター&おしゃべり会
令和3年9月30日	tenten cafe@福島市	令和4年2月12日	tenten cafe@福島市(大会)
		令和4年3月3日	tenten cafe@郡山
		令和4年3月8日	防災tenten cafe@福島市

WELCOME
ワークショップ

福島市開催



県北地方に移住・転入した女性を対象とした、楽しく地域のことを学びながらの仲間づくりを行うワークショップ 全4回同じメンバーで行うことで、参加者同士交流を深め福島暮らしの情報をたくさん共有していました。

第1回 6月18日
お互いを知り仲間づくり (アイスブレイク)

講師：子育て支援hanaso吉田暁子さん、寺崎裕美さん

第2回 6月25日
福島の花を使ったボタニカルジェルランタン作り

講師：工房マートル 大槻美友さん

第3回 7月2日
福島の柿を使ってエコバックの柿渋染め体験

講師：YOIKAKI 坂内まゆ子さん

第4回 7月9日
福島の養蜂場のはちみつを使った化粧水とミツロウクリーム作り

講師：aroma-nature長澤恵さん



参加者の声
石川美保さん

山口県出身 転勤族
2020年に福島市に夫の転勤で転入

教えてもらった新幹線が見れるスポットに子どもを連れて行きました！他にも自分の中に行きたいところなどのリストが増えたことが嬉しい！参加する度に作ったものを見せたり、どんなことをしたり教えてもらったか話したりしていたら、楽しんできた様子が伝わったのか旦那さんからのtentenに対する評価がとても高いです！旦那さんは今いる福島を楽しんでほしいと思っているようで、tentenに参加して教えてもらったスポットに家族で出かけたりもしています！



二本松市開催



第1回 10月5日
ミツロウラップ作り

講師：暮らし楽しむ店 木幡ベース 島村さなえさん

第2回 10月12日
二本松上川崎和紙のうちに絵付け体験

講師：二本松市地域おこし協力隊 寺澤伸也さん

第3回 10月27日
菊のボックスフラワーアレンジメント

講師：ムトーフラワーパーク 武藤頭乃さん

※9月28日が新型コロナウイルスまん延防止対策期間に重なり、中止になってしまったため、振替開催

※9月14日「お互いを知り仲間づくり」講師：子育て支援hanaso吉田さん
→新型コロナウイルス感染拡大を受け、まん延防止等重点措置が県内に発令されていたため「中止」



参加者の声
武藤頭乃さん

東京都出身
2018年に二本松市に転入

WELCOMEワークショップに参加したことがきっかけとなり、いろんな方との出会いでやりたい！と思っていたことが現実味を帯びてきました！それまでは知らなかった「あぶくまの里 農ganic女子」にも参加して、さらに人との繋がりが広がっています。
講師の島村さなえさんとながることができたのもよかった！子育てをする中で食の安全とか気になるようになっていて、木幡ベースでは東京で行っていた自然食品店と同じものが購入できるし、具体的に聞ける人が近くにできたのが嬉しい。



まちとつながる旅 in 川俣町

県北地方に移住・転入した女性が福島のまちや人とつながり、より福島を楽しんで暮らしてもらおうキッカケになるまち歩きツアーを開催しました。

(2021年10月9日(土))

レトロな街並みが残っている川俣商店街を中心に、歴史的な建物や茶室、商店など徒歩で散策。コースは川俣町の毎日の暮らしの中で見つけた気になるモノゴトを記録・発信しながら、色々な試みを続ける「ヤマキヤダーチャ」の遠藤典子さん(Uターン者・地域のキーパーソン)にご協力いただき設定。当日も遠藤さんにアテンドしてもらい、参加者に川俣の魅力を直接伝えてもらう。「福島で福島をもっと楽しもう!」をテーマに散策し、川俣町内での楽しみ方や誰かに紹介したくなるようなツアーになりました。



訪問地(訪問・見学)

- ①仙臺屋(蔵座敷)
- ②堀川問屋(食器・茶屋)
- ③フジヤ書店(本屋)
- ④回転焼き(大判焼き屋)
- ⑤仙臺屋茶室
- ⑥竹屋(菓子屋)
- ⑦保原屋(花屋)
- ⑧高橋家住宅



参加者の声
鎌田千翔さん

(福島市出身
東京から2021年にUターン)

ただ街を歩くだけでなく、商店街の方との交流ができ、海外やソトのものを積極的に取り入れてきた歴史も学ぶことができ、とても素敵な経験ができました。また街に戻ってきたという気持ちになりました。



ヤマキヤダーチャ
遠藤典子さん

いろんな方に、川俣町の雰囲気や、実際に感じ、楽しんでいただくとても良い機会を作っていただきました。ヤマキヤダーチャでは川俣の地域資源を活かした商品作りも行っているのですが、このツアーがきっかけでentでの取り扱いが始まりました。商品紹介のポップを作っていただったり、メディアでご紹介いただきとても感謝しております。作り手さんもとても喜んでおられます。

まちとつながる旅
in 福島市

県北地方に移住・転入した女性が福島のまちや人とつながり、より福島を楽しんで暮らしてもらうキッカケになるまち歩きツアーを開催しました。

(2021年11月26日 (金) 10:00~12:30)

個性的でまちづくりに力を入れている個人商店が集まる県庁通り商店街を中心に徒歩で散策。昨年度開催したまちとつながる旅のコースをベースに、この1年の間に新しくオープンした店舗にも訪問しました。訪問店舗以外にもまち歩きをしながら、大町に事務所があるtentenスタッフがおすすめの文房具店、総菜店、飲食店、スポットなどを紹介。「福島で福島をもっと楽しもう!」をテーマに、街中の楽しみ方を知るキッカケとなりました。



訪問地 (訪問・見学)

- ①OPTICAL YABUUCHI (眼鏡・雑貨屋)
- ②Total Plants bloom (花屋)
- ③PICK-UP&BarnS (洋服・雑貨屋)
- ④ent Fukushima Specialities (雑貨屋)
- ⑤Vase~Stay&Lounge~ (カフェ・シェアハウス)
- ⑥La Unión (カフェ・宿泊施設)
- ⑦Books&Cafe コトウ (本屋・カフェ)
- ⑧うろこや (甘納豆屋)



まちとつながる旅 座談会@La Unión

2021年12月20日、福島市内のゲストハウス&カフェ La Unión福島にて、「まちとつながる旅」の座談会が開かれました。「まちとつながる旅」から1か月。3名の参加者さんに集まってもらい、どのように過ごしていたかをシェアしました。



みんなで写真を見ながら旅の振り返り



毎週通ってたら
Vaseの常連に!



旅で訪れた店の店主たちが作成したLIFEKUマップ まだまだ知らないお店がたくさん!

参加者の皆さんは、街あるきで訪れたお店に何度も足を運んでくれているそう。写真を見ながらの振り返りでは、こんな意見ができました。

- このイベントに賛同してくださったOPTICAL YABUUCHIの藪内さんの奥さんともお話ししてみたかったから話せてよかった。
- bloomへ2日後くらいに行ったら、「街あるきの時に参加してたよね」と言ってもらえた。
- PICK-UPは後日ゆっくり行って、かわいい洋服や北欧バッグにとぎめいた。
- 夫婦で服に疎いので、PICK-UPの店員さんに色々アドバイスしてもらえそう。
- Vaseで常連になって、試作のケーキを出してもらえた。
- 甘納豆は食わず嫌いだったけど、次の日食べたならあまりにもおいしくてすぐになくなってしまった。一昨日、うるこやの営業日に行けたのでいっぱい買って親に送った。



PICK-UPで
目星をつけていた
服を購入しました

うるこやは
塩花豆が絶品です



街の話題から発展して、「福島の在り方」で盛り上がっていたのも印象的でした。

- 福島はいいものがありすぎるのに宣伝をしないからもったいない。
- 福島は人もいい素材がいいから「こんないいものあるよ」って自慢したい。福島に来るまで知らなかった。
- 未来の子どもたちのために、もっと福島が良くなれば嬉しい。



La Uniónの店主、伊藤さんが会話に参加する場面も

参加者の声



美術大学を卒業後、シューズデザイナーとして勤務。プレス・広告も担当経験あり。ヨガ・アクセサリー作り・福島のカフェ巡りが趣味。

1 飯島麻美さん

☆ 福島県福島市出身 〈福島(Uターン)2年目〉

行きつけのお店は何か所かありましたが、この旅をきっかけにさらに広がったので嬉しいです。特にVaseがお気に入り、毎週末イベントに参加して、常連さん認定してもらえたんですよ!

Vaseではイベントを主催する以外にも、若者の自主的な活動を応援していて、会場を提供しています。たくさんの若い人たちに色々な刺激を受けてほしいし、私も協力できたらいいなあと思っています。



仙台のデザイン会社でグラフィックデザイナーを経てフリーのイラストレーターico.として独立。オンラインチャリティショップ「malica」を運営している。

2 物江麻衣子さん

☆ 宮城県名取市出身 〈福島4年目〉

「まちとつながる旅」のあと、週一ペースでどこかのお店に行ってます。かつての私は「カフェといえばミスド」で、福島の良いところを人に紹介できなくて悔しかったんです。福島には4年もいて、色々情報収集はしていたけど、個人店のドアを開けるまでの勇気が出ませんでした。それを「まちとつながる旅」にこじあけてもらいました。街や人とつながるきっかけをもらえて、世界が一気に広がった気分です。未来は明るい!



局アナとして福島と長野で活躍後、フリーアナウンサーへ。結婚 式場の専属司会者も務める。夫のクリニックのマネジメントや漢方茶の開発にも挑戦中。

3 中島明日香さん

☆ 埼玉県飯能市出身 〈福島14年目〉

ここ福島で起業して、お茶づくりをやりたいと思っています。tentenと出会ったおかげで、たくさんの人や街とつながり、自分のやりたいことがどんどん大きくなっています。私の本業は「人をつなげること」。色んな人や街を巻き込んで、福島の良いものをどんどん宣伝していきたい気持ちが強くなりました。この旅の参加者同士、人と人、人と街、そういうつながりを大事にしていきたいです。

tenten代表
藤本菜月

tentenは、「人とつながりたい、普通の女性たちが気軽に来れる場にしたい」という思いではじめました。でも普通だと思っていた方も、ひとりひとりの話を聞くと、みんなそれぞれに思いややりたいことがしっかりあるんです。この「まちとつながる旅」で刺激を受けて、「自分も動きたい、迎える側になりたい!」とってくれた方もいます。これからは「ただ集まる」だけでなく、「一緒にできることがあればやりたい」。tentenの発展形として、みんなをつなぐ場になっていくといいな、まちとつながる旅を開催して改めて感じました。

桃畑オンライン見学ツアー

※「まん延防止重点措置」が発令されたため、オンライン開催に変更。

(2021年8月31日(火) 14:00~15:30)

- 国見町 阿部 郁さんの桃畑より配信
- アテンド・(株)陽と人



桃農家
阿部 郁さん

福島と言えば桃!!

その桃がどんな環境で、どんなふう生産されているのか、またそれに関わっている人たちはどんな人なのか。なかなか果樹園を見る機会も生産者さんと話す機会もないので、桃について知りたい!と10人の転入女性が参加してくれました。

桃の品種や育て方だけでなく、桃作りへのこだわりや想いを生産者である阿部郁さんから直接お話をきかせてもらい、参加者からの質問にも答えてもらいました。

参加者の元へ桃が届くように手配してもらい、当日はみんなで桃の試食会も実施!



地域の方の声

(株)陽と人 鈴木杏奈さん

急遽オンラインでの開催となりましたが、参加者の皆様には時間いっぱいご質問いただきました。食べるだけではなく、「福島の桃」を知っていただく時間になったように感じます。イベント開催後には再度桃をご購入いただいた方もいっしょに、受け入れの生産者さんも新しい繋がりがうまれたことを喜んでおられました。



参加者の声

森 礼子さん

(千葉県出身
2020年に福島市に転入)

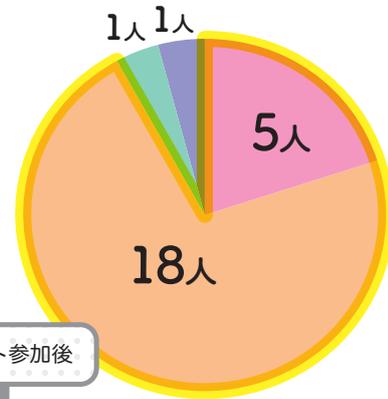
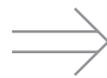
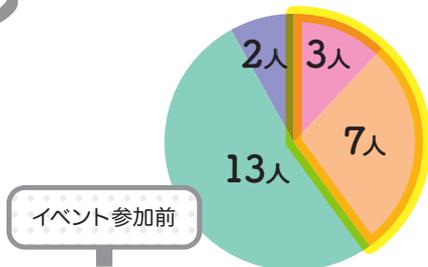
農家さんのこだわりや熱い想いを感じることが出来た見学ツアーでした。試食で頂いた桃がとても美味しかったので、今年の収穫時期が待ち遠しいです。

次回は、実際に農園で収穫体験が出来たら嬉しく思います。



福島への愛着度

WELCOMEワークショップ、まちとつながる旅、桃畑オンラインツアー、参加者へのフォローアップアンケート結果(回答数:25)



- 福島に定住・永住できるならしたい!
- 福島のいいところを誰かに伝えたい!(伝えた!)
- 福島のいいところを見つけたい。(福島に興味を持っている)
- 福島にはとらええず住まなければいけないので住んでいる。
- できれば違うところに住みたい。引っ越したい。

ポジティブな回答が
40% ⇒ 92%に

tenten cafe

転入女性を対象にした座談会を県内各地で開催しました。
tentenスタッフと共にその地域に住む地域サポーターさんが
先輩転入女性として運営のお手伝いをしてくれています！

福島市開催

福島市ではtenten cafeの他に転入ママ向けの「tenten mama cafe」、週末に大人だけで集まりおしゃべりする「大人会」、転入女性のスキルアップ向けの「tenten勉強会」を定期的に開催しています。



(大人会)

福島市での開催には郡山や白河、飯舘など県内各地からも参加してもらっています。自分の話をするので毎回濃い時間を過ごしています。



(tenten勉強会 ～ふるさと納税について～)

ふるさと納税って難しい？どんなメリットがあるの？を解決するべく「SOMPOひまわり生命株式会社」様を講師に招き、ふるさと納税の基本の「き」を教えてもらいました。参加者のふるさと納税に対するハードルが下がったようです。



(tenten勉強会 ～確定申告について～)

転入女性の中にはフリーランスなど自分でお仕事をされたり、在宅でのお仕事を選ぶ方もいます。確定申告のいろはを分かりやすく佐藤充孝税理士事務所の佐藤充孝さんが教えてくれました。ワークも織り交ぜながらの講義だったので、確定申告の際にやる事が明確になったようです。



郡山市開催

他地域に比べると「転勤族」の方の参加が多い地域です。ほぼ毎回先輩転入女性の参加があり、たくさん情報提供をしてくれています。



相馬開催

託児サポートとして「子育てサロン こはるびより」さんが来てくれています。毎回お子さんの見守りをしながら、地元の方の生きた情報を惜しみなく伝えてくれています。



会津開催

他地域に比べると「お嫁さん」として転入した方の参加が多い地域です。そのため風習や習慣など転入者ならではの驚きや悩みをみんなで共有しています。市役所の担当者が情報やコミュニティを紹介してくれることも。



参加者の声
岸見香里さん

(埼玉県出身
2021年に福島市に転入)

tenten cafeでは、いろんなバックグラウンドの方にお会いできてとても楽しかったです！振り返ってみると、地域の方が集まるような機会がこれまでなかったなあと。職場でもなく、同じ趣味のサークルでもなく、お近くの方と集まってお話しできるってそれだけで貴重でありがたいなあと思いました！
福島に引越してきて1年、tenten cafeでないとお会いできなかった方々に会えたのは本当にラッキーでした。これからもいろんなつながりがあると嬉しいです。



参加者の声
関谷央子さん

(新潟県出身 2018年に会津若松市に転入)

同じような境遇の方々と気軽に話せる場を求めていたので、とてもありがたかったです。地域の情報交換をしたり、ここでの出会いがきっかけで、新たなつながりが生まれたりしました。話しやすい雰囲気づくりをいただいたスタッフの方々にも感謝しています。

飯坂温泉共同浴場 モニターツアー

福島市観光開発株式会社様より依頼を受け、モニターツアーを行いました。「利用客の減少が止まらない飯坂温泉の共同浴場について、ソトカラ目線、女性目線で率直な意見がほしい」とtentenにご依頼いただきました。

事前に打ち合わせを行い、共同浴場の課題感やターゲット層をヒアリング。ターゲットに合致する転入女性10名が福島市、郡山市から集まり、まち歩きをし、その後率直な意見交換を行いました。



意見交換会



こんな意見が出ました

- ✓ 鯖湖湯や波来湯は共同浴場ビギナーにも入りやすい
- ✓ お風呂の入り方(作法)がもう少し大きく分かりやすくあるとよい
- ✓ レトロかわいい街並みと合わせてアピールした方がよい
- ✓ 食べ歩き等も合わせたモデルコースが各ターゲット向けにあるとよい
- ✓ 観光案内所が分かりづらい など

依頼者の声

福島市観光開発株式会社 中根 洋さん

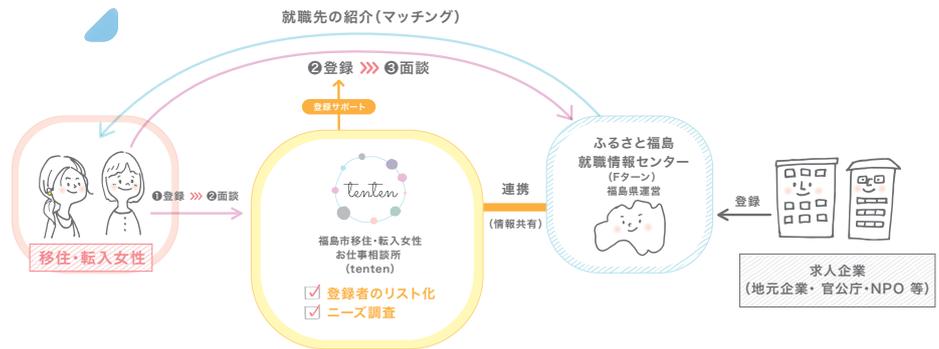
飯坂温泉共同浴場は数年来入湯数が減少していました。挽回するにはどうすべきか色々検討してきましたが、これといったいいアイデアが生まれていませんでした。一度外部の人に見ていただいて、意見を聞きたいと思い探していたところtentenさんを見つけました。tentenさんはまさに外部から福島に移住・定住された方々ですので、外の意見を聞くのもってこいでした。弊社は共同浴場の番台に立っていたメンバーを揃え、tentenの皆さんに共同浴場を見ていただきながら、現在噴出している問題、課題を説明させていただきました。ツアー後にミーティングを実施し、見てきた感想やご意見を頂戴しました。社内からは「内部では発想してこなかった話をたくさん頂き大変為になった、これからこの声を生かしていきたい」との声が出ました。できないこと、すぐできること、時間をかければできることに区分けし、ちょっとずつ先に進んでいます。外部の声をいただくことで、少しでも前に進み始めたことを嬉しく思っています。共同浴場だけでなく飯坂温泉全般についてもこれからtentenさんとコラボレーションしていければと思います。



お仕事探しサポート サービス開始

令和3年度福島市移住・転入女性お仕事マッチング事業 業務委託として実施

転入を機に離職し、新しく転入した福島市で仕事を探す転入女性から悩みなどをヒアリングし、仕事探しの方には福島県就職情報支援センター（Fターン）を、起業に興味のある方には福島駅西口インキュベーションルームを紹介するなど、ニーズに応じて適切な人と機関に連携する仕組みを福島市とともに作りました。



移住・転入女性限定! ふくしまプレミアム・ スイーツモニター& おしゃべり会

キックオフイベントとして1月27日に「移住・転入女性限定!ふくしまプレミアム・スイーツモニター&おしゃべり会」を福島市と共に開催。プレミアムスイーツの紹介と合わせてお仕事サポートサービスの紹介を行いました。24名の転入女性が参加し、その後5名のお仕事相談に繋がりました。



(株) ハウスコムと連携、在宅ワーク 「間取り図データ」作成拠点を設置

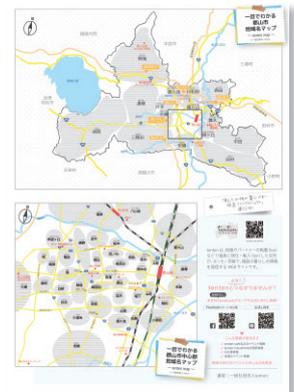
子育てやパートナーの転勤などが理由で定職に就けない転入女性からニーズのある在宅ワーク。これまでも単発の在宅ワークを受注してきましたが、11月に(株)ハウスコム(東京都)と連携して間取り図データ作成拠点をtentenに設置し、継続的に在宅ワークを受注することとなりました。令和4年5月現在、在宅ワーカーさん4名(福島市2名、郡山市1名、いわき市1名)が自宅で業務に当たっています。tentenは在宅ワーカーの募集・選定、研修の取りまとめ等でマネジメントの役割を担っています。



(株)ハウスコムの
田村社長と

「tenten map 郡山版」完成

tenten mapは日常会話で使われる地域名、そして主要な道路、ランドマーク、信号をざっくりをA4・1枚にまとめた地図。私たちが転入したときに困ったのが土地勘が全く掴めないこと。地図はあっても、それがどこにあるのか、ざっくりでもいいので一目で分かる地図があるといいなと思っていました。これまで福島市版、白河・西郷版はありましたが、郡山市版も郡山市の先輩転入者の協力を得て完成させることができました。



県産品ギフトショップ兼移住情報ステーション 「ent」を福島市にOPEN

福島を知る入り口(entrance)として、福島の暮らしの中で生まれたストーリー性とデザイン性のある商品を集めた福島の新しいギフトショップ「ent」を令和3年9月21日に開店しました。転入して福島で出会った素敵だなと思ったモノ、出会った人たちが想いを込めて作られるモノ、思わず他県の知人にプレゼントしたくなるものを軸に商品をセレクトしています。スタッフもtentenコミュニティから募集。ヨソモノ・女性目線を活かしたお店に育てていきます。転入者がいつでも立ち寄れるお店として福島県東北地方振興局の「移住情報ステーション」にも登録しました。



「ははとはれのひははのはなし」 リリース

tentenが展開する地域資源を活用したオリジナル物産ブランドに新しいブランドが生まれました。会津木綿を活用したママと赤ちゃんのリンクコーデブランドです。転入して頼れる人が近くにいない状況で子育てに奮闘するママに何気ない日常をハレの日にしてもらいたいという想いを込めて「ははとはれのひははのはなし」というブランド名をつけました。3月から県内3店舗とオンラインショップで販売開始しました。商品の作り手に転入女性に携わってもらっており、転入女性の仕事づくりにもつなげていきます。



Special thanks

一般財団法人 ふくしま未来研究会

【WELCOMEワークショップ】

- ・子育て支援hanaso 吉田暁子さん、寺崎裕美さん
- ・工房マートル 大槻美友さん
- ・YOIKAKI 坂内まゆ子さん
- ・aroma-nature 長澤恵さん
- ・木幡ベース 島村さなえさん
- ・二本松市地域おこし協力隊/工房washito 寺澤伸也さん
- ・ムトーフラワーパーク 武藤颯乃さん
- ・ゆきしる屋 武藤琴美さん
- ・子育てサークルtsunago
- ・NPO法人 子育て支援グループこころ

【まちとつながる旅〈川俣町〉】

- ・仙臺屋
- ・堀川問屋
- ・フジヤ書店
- ・回転焼き
- ・仙臺屋茶室
- ・竹屋
- ・保原屋
- ・高橋家住宅
- ・ヤマキヤダーチャ 遠藤典子さん
- ・TOKIMEKIPHOTO 古関真奈美さん
- ・雑穀料理教室〆たわわ 村上可奈子さん

【まちとつながる旅〈福島市〉】

- ・OPTICAL YABUUCHI
- ・Total Plants bloom
- ・PICK-UP&BarnS
- ・ent Fukushima Specialities
- ・Vase~Stay&Lounge~
- ・La Unión
- ・Books&Cafe コトウ
- ・うるこや
- ・カメラマン 木下真理子さん

【桃畑オンライン見学ツアー】

- ・桃農家 阿部郁さん
- ・(株)陽と人
- ・(株)Asian Bridge 松田悠さん

【tenten cafe】

- ・積水ハウス 福島支店
- ・積水ハウス 郡山支店
- ・信陵子育て支援センターぼれぼれ
- ・パルシステム福島郡山センター
- ・SOMPOひまわり生命保険株式会社
- ・佐藤充孝税理士事務所 佐藤充孝さん
- ・子育てサロンこはるびより 中村美由紀さん

【WEBサイト tenten fukushima】

白井友里恵さん

【委託事業・助成金】

- ・令和3年度ふくしま県北定住支援カフェ事業（福島県県北地方振興局）
WELCOMEワークショップ/まちとつながる旅/桃畑オンライン見学ツアー
- ・令和3年度福島市移住・転入女性お仕事マッチング事業（福島市）
移住・転入女性限定！ふくしまスイーツ・プレミアムモニター&おしゃべり会
- ・令和2年度地域づくり基金（パルシステム生活協同組合連合会）
tenten cafe

令和3年度
転入女性が暮らしやすい福島づくりプロジェクト
活動報告書

【発行日】 2022年7月
【制作・発行】 一般社団法人 tenten
<https://tenten.info/>
info.tenten.fukushima@gmail.com

